



2023年3月期 第2四半期決算短信 (日本基準) (連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社カーチスホールディングス
 コード番号 7602 URL <http://www.carchs-hd.com/>
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 長倉 統己
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部課長 (氏名) 高橋 英知
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3239-3185

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,482	17.7	△93	—	△42	—	△82	—
2022年3月期第2四半期	8,058	18.5	△35	—	△30	—	△56	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △55百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △53百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△4.01	—
2022年3月期第2四半期	△2.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	7,357	5,357	70.2	249.32
2022年3月期	7,626	5,445	69.2	255.14

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 5,163百万円 2022年3月期 5,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	20,000	8.8	480	138.3	480	124.4	380	18.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	24,087,009 株	2022年3月期	24,087,009 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,374,689 株	2022年3月期	3,416,891 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	20,684,144 株	2022年3月期2Q	20,670,511 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日）におけるわが国の経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められている中で、各種政策の効果もあり、緩やかに持ち直しつつあります。しかしながら、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を押し下げるリスクがあります。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

当社グループが属する自動車業界におきましては、新車登録台数（軽自動車含む）は、157万台（乗用のみ、貨物・バス等除く）となり、前年同期比6.3%の減少となりました。中古車登録台数（軽自動車含む）は、252万台（乗用のみ、貨物・バス等除く）となり、前年同期比6.0%の減少となりました（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会）。

このような環境の中で当社グループは、カーチスの既存事業である「自動車流通事業」においては、『顧客ファースト』のスローガンのもとに、お客様と直接取引する「買取直販」を積極的に推進しております。保証やメンテナンスパッケージなど多様化するお客様のニーズに対応するサービスを強化することにより付帯収益を向上させ、納車後のお客様との取引を継続的に行うために、車検や保険などのアフターサービスの充実を図っております。また、インターネット媒体への掲載取組強化や価格の見直し等により展示車両を充実させております。一方で、長期在庫車両等の処分、及び仕入価格相場が高騰する中での良質車両の仕入等による売上原価の増加により利益率が一時的に低下しているものの、業績向上に向けた各営業拠点の販売強化及び車両粗利の改善に努めております。

商用車関連におきましては、カーチス倶楽部会員や法人顧客を対象とした新たな顧客層を開拓し、トラックなどの取引を拡大しております。

海外関連におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が少しずつ回復傾向にある中で、諸外国との輸出入の動きが増えつつあり、特にバングラデシュ等においては取引が活発化してきております。また、円安の影響もあり、海外向けの車両販売は前年同期174百万円から1,256百万円に増収となっております。引き続き、国内中古車輸出企業との業務提携を強化してまいります。中国に設立しました合弁会社である青島新馳汽车有限公司につきましては、これまで、車両の整備工場を設立し、新型コロナウイルス感染症の回復後の業績拡大に向けた体制整備を進めておりましたが、新華錦グループ企業との更なる連携強化を深め、モンゴル、EU諸国等への輸出をする計画が、当第4四半期以降にはようやく動く見込みとなっております。

「カーチスファン드를活用したリースバック関連事業」においては、金融機関、大手物流業者との連携及びカーチス倶楽部会員を通じた運送事業者等への事業の認知度向上も進んでおり、商用車関連の取扱強化も踏まえ、第3四半期以降のさらなる収益計上を見込んでおります。

販売費及び一般管理費につきましては、引き続き各科目の見直しによる経費削減を行っておりますが、売上拡大に向けての新規事業や海外輸出関連に伴う事業構造の転換により、人員採用などの戦略的投資を積極的に実施しており、また、知名度向上のためのテレビ及びラジオCMなどの積極的な広告費の投入などにより、一過性の減益となっておりますが、年度内には改善する見込みであり、2023年3月期の連結業績予想においては、期初の見込み通りの進捗状況と判断しております。

以上の結果、売上高は9,482百万円（前年同期比17.7%増）と増収となるも、営業損失は93百万円（前年同期は営業損失35百万円）、経常損失は42百万円（前年同期は経常損失30百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は7,357百万円となり、前連結会計年度末と比べ、268百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、現金及び預金の増加373百万円、売掛金の減少662百万円、商品の減少115百万円などによるものであります。

負債合計は1,999百万円となり、前連結会計年度末と比べ、181百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、買掛金の減少439百万円、契約負債の増加219百万円などによるものであります。

純資産は5,357百万円となり、前連結会計年度末と比べ、87百万円減少いたしました。主な要因といたしましては、利益剰余金の減少128百万円などによるものであります。この結果、自己資本比率は70.2%（前連結会計年度は69.2%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、1,970百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失は42百万円であり、売上債権の減少662百万円、棚卸資産の減少116百万円、契約負債の増加219百万円などの増加要因と仕入債務の減少439百万円などの減少要因により、446百万円の収入となりました（前年同期は902百万円の支出）。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

無形固定資産の取得による支出51百万円などにより、60百万円の支出となりました（前年同期は49百万円の支出）。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

自己株式の処分による収入10百万円の増加要因とリース債務の返済による支出13百万円、配当金の支払額41百万円などの減少要因により、45百万円の支出となりました（前年同期は157百万円の収入）。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月11日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,196,613	2,570,515
売掛金	1,521,039	858,654
商品	2,163,667	2,048,338
貯蔵品	502	545
その他	273,890	388,239
貸倒引当金	△541	△541
流動資産合計	6,155,172	5,865,752
固定資産		
有形固定資産	992,638	963,275
無形固定資産	68,559	113,887
投資その他の資産		
投資有価証券	58,898	62,116
差入敷金保証金	345,135	345,084
破産更生債権等	1,379	1,319
その他	16,004	17,513
貸倒引当金	△11,354	△11,294
投資その他の資産合計	410,063	414,739
固定資産合計	1,471,260	1,491,902
資産合計	7,626,432	7,357,654

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	721,252	281,872
短期借入金	560,000	560,000
未払金	213,701	221,254
未払法人税等	22,905	19,593
契約負債	226,958	446,222
その他	147,357	196,870
流動負債合計	1,892,174	1,725,813
固定負債		
預り保証金	10,875	8,775
リース債務	95,776	82,816
繰延税金負債	10,061	9,352
資産除去債務	169,529	170,219
その他	2,466	2,852
固定負債合計	288,709	274,016
負債合計	2,180,884	1,999,830
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,816,034	2,816,034
資本剰余金	846,636	846,636
利益剰余金	2,694,904	2,566,671
自己株式	△1,089,734	△1,076,258
株主資本合計	5,267,840	5,153,083
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,893	10,867
その他の包括利益累計額合計	5,893	10,867
新株予約権	2,710	2,710
非支配株主持分	169,103	191,162
純資産合計	5,445,548	5,357,824
負債純資産合計	7,626,432	7,357,654

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	8,058,062	9,482,416
売上原価	6,474,841	7,986,816
売上総利益	1,583,221	1,495,600
販売費及び一般管理費	1,618,772	1,589,565
営業損失(△)	△35,551	△93,964
営業外収益		
受取利息	841	719
受取配当金	1,222	1,273
受取保証料	1,067	729
金利スワップ評価益	127	—
為替差益	—	46,735
雑収入	6,536	6,424
営業外収益合計	9,794	55,882
営業外費用		
支払利息	660	1,145
支払保証料	2,659	727
為替差損	51	—
持分法による投資損失	95	1,755
雑損失	1,281	336
営業外費用合計	4,747	3,965
経常損失(△)	△30,504	△42,047
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△30,504	△42,047
法人税、住民税及び事業税	20,852	19,530
法人税等調整額	3,122	△709
法人税等合計	23,974	18,820
四半期純損失(△)	△54,479	△60,868
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,662	22,059
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,141	△82,927

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△54,479	△60,868
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	587	4,974
その他の包括利益合計	587	4,974
四半期包括利益	△53,891	△55,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,553	△77,953
非支配株主に係る四半期包括利益	1,662	22,059

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△30,504	△42,047
減価償却費	48,719	44,104
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△60	△60
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,546	—
受取利息及び受取配当金	△2,063	△1,992
支払利息	660	1,145
売上債権の増減額 (△は増加)	63,468	662,385
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△132,199	116,340
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	60	△1,448
未収入金の増減額 (△は増加)	4,951	△3,010
前渡金の増減額 (△は増加)	3,824	△93,359
仕入債務の増減額 (△は減少)	△690,524	△439,379
未払金の増減額 (△は減少)	△28,836	6,911
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,160	△928
契約負債の増減額 (△は減少)	—	219,264
前受金の増減額 (△は減少)	△45,383	—
預り金の増減額 (△は減少)	△3,570	△74
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△854	50,731
その他	△63,178	△73,968
小計	△881,197	444,613
利息及び配当金の受取額	1,611	2,142
利息の支払額	△660	△1,145
法人税等の還付額	—	13,094
法人税等の支払額	△21,946	△12,167
営業活動によるキャッシュ・フロー	△902,192	446,538
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△148,973	△8,897
無形固定資産の取得による支出	△24,523	△51,536
敷金及び保証金の差入による支出	△1,621	△38
敷金及び保証金の回収による収入	131,553	68
資産除去債務の履行による支出	△6,160	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,725	△60,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250,000	—
リース債務の返済による支出	△788	△13,747
長期借入金の返済による支出	△50,000	—
自己株式の取得による支出	△78	△37
自己株式の処分による収入	—	10,000
配当金の支払額	△41,340	△41,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	157,792	△45,036
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	32,803
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△794,125	373,901
現金及び現金同等物の期首残高	2,227,632	1,596,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,433,506	1,970,515

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月15日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、自己株式42,372株を処分いたしました。これにより、利益剰余金が3,513千円減少し、自己株式が13,513千円減少致しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、利益剰余金が2,566,671千円、自己株式が△1,076,258千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

当社グループは、自動車関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		四半期 連結財務諸表計上額
	自動車流通事業	リースバック 関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,457,548	24,868	9,482,416
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	9,457,548	24,868	9,482,416
セグメント利益又は損失(△)	△115,014	21,049	△93,964

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前第4四半期連結会計期間において、新たな事業である特別目的会社を活用したリースバック事業を展開しており、前連結会計年度より新たに「リースバック関連事業」セグメントを追加しております。これに伴い、より実態に即した名称にするため、従来の「自動車関連事業」から「自動車流通事業」へセグメント名称を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分方法により作成した情報については、「リースバック関連事業」が前第4四半期連結会計期間より開始されたことから、開示を行っておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。